

第4章

附属農場体験

今年度も引き続き名古屋大学附属農場で、中学生・高校生の参加希望者を募って農場体験を行った。内容は、山田邦夫先生の講演会に参加した後、附属農場での体験学習を行った。

実施日時

日 時 10月18日（土） 午後2時～4時
題 名 「生活を彩る切り花」
講 師 山田 邦夫 先生
(名古屋大学大学院生命農学研究科)

講演概要

結婚式場やパーティー会場、葬儀の祭壇などには切り花はなくてはならない存在です。また、お祝いやお見舞いには花束で気持ちを表現します。食卓や玄関先に常に花を生けている家庭も少なくありません。花には人に安らぎを与え心を豊かにする魅力があり、まさに私たちの生活を彩っていると言えます。日頃何気なく目にしている切り花ですが、その陰には育種家達の苦勞から始まり生産者・流通業者など多くの裏方さんの努力があります。育種の歴史、切り花流通の仕組みや花が開くメカニズムなどを知ると、今までとは少し違った角度から切り花を楽しめるようになるかも知れません。今回の講演では、多くの人に馴染みの深い「バラ」を中心に、その奥深い世界を紹介したいと思います。

施設見学と実地体験

13時30分 附属農場到着

施設見学1

研究用家畜についての説明を受ける

講演会

山田 邦夫 先生の講演

「生活を彩る切り花」を受講

施設見学2

研究用家畜に飼料を与える

イネの品種改良についての話を聞く

講演内容について、実際に栽培中の実験花を

観察

17時30分 本校へ帰着

参 加 者 中学生・高校生 合計9人

実地体験では、附属農場で飼育されている牛に餌を与えるなど、普段都会ではできない体験をすることができた。また、稲の品種改良についての説明や、講演で説明された「バラ」の品種改良について実際の花を見ながらお話をいただいた。

